メモリの動的割り当ての概念



画像を処理するプログラム (アプリケーションプログラム)

OS (Windows, iOS, Android, Linux 他)

```
プログラムスタート
必要メモリサイズが判明
メモリ割り当て要求
何かの処理
メモリの利用終了
メモリの返却
プログラム終了
```

メモリ貸してね! malloc()関数実行

先頭メモリアドレス通達 malloc()関数の戻り値

メモリ返すね! free()関数実行 メモリを割り当て (貸出したメモリは他の アプリには使わせない)

> malloc()関数の戻り値が 先頭メモリアドレス!! ⇒メモリアドレスを管理 ⇒ポインタが必要!!

メモリを解放 (要求により他のアプリに 貸出し)

復習

変数のアドレスとポインタ(1)

int a = 100; printf("値は%dで, アドレスは%dである¥n", a, &a)

値は100で、アドレスは1245052である

ルール1

&a は変数aの先頭アドレスを意味する



ルール2

p = &a; _____ ポインタ変数pに変数aのアドレスを代入

printf("値は%dで, アドレスは%dである¥n", a, p)

値は100で、アドレスは1245052である

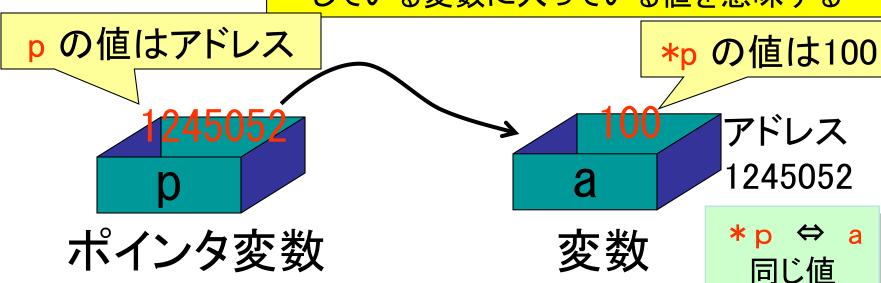
復習

変数のアドレスとポインタ(3)

```
int a = 100;
int *p;
p = &a;
printf("値は%dで, アドレスは%dである¥n", *p, p)
値は100で, アドレスは1245052である
```

ルール3

ポインタ変数名の前に*を付けると、指し示している変数に入っている値を意味する



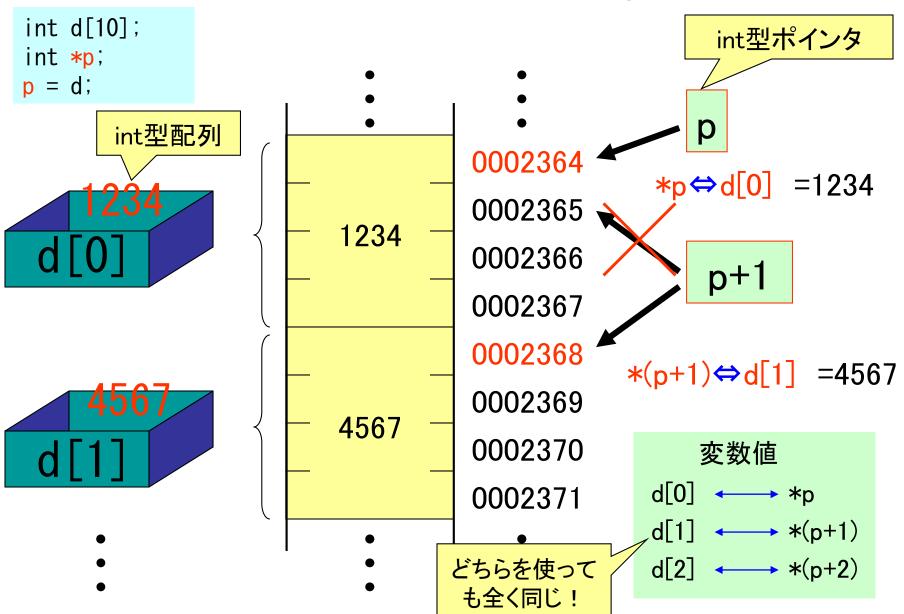




```
配列の先頭
int data[10];
                                        アドレス
int *p;
                                        &data[0]
p = \&data[0];
                          1245052
                                         または
                                         data
                          1245053
                 data[0]
int data[10];
                          1245054
int *p;
                          1245055
                                        ルール4
p = data;
                                      配列の名前だ
                          1245056
                                      けを書くと、そ
                          1245057
                                      れは配列の先
                 data[1]
この場合, &は
                          1245058
                                      頭アドレスを
  いらない
                          1245059
                                       意味する
```

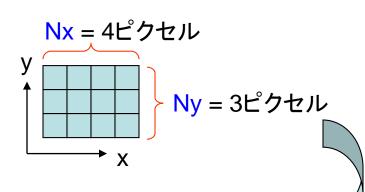
ポインタと1次元配列の関係





2次元配列で表した画像とポインタの関係^{復省}

次の様に座標を決めた画像を・・

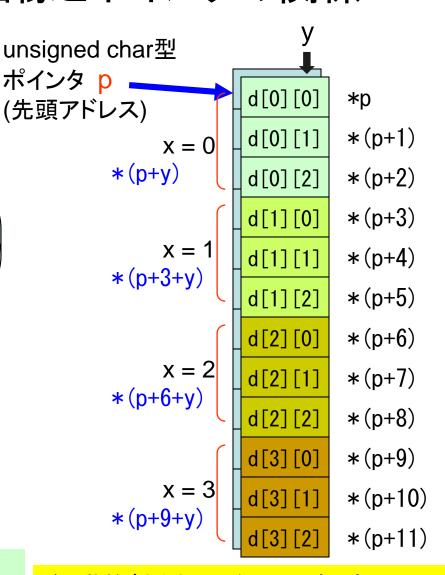


下の様な配列で考えると・・

unsigned char d[4][3];

$$y = 2$$
 $y = 1$
 $y = 1$
 $y = 0$
 $y = 1$
 $y = 0$
 $y =$

$$d[x][y] \longrightarrow *(p + x*Ny + y)$$



注)動的割り当てしたメモリを2次元配列 の形でソース中で参照できない



動的割り当てとポインタを用いた例

```
Example3-1
  #include
             <stdio.h>
  #include
            <stdlib.h>
                          unsigned char型のポインタ
  #include
             "cglec.h"
                             unsigned char型ポインタへの変換
  int main(void)
     int Nx. Ny;
     printf("画像の横方向とクセル数は?");
                                         scanf("%d", &Nx);
     printf("画像の縦方向ピクゼル数は?");
                                         scanf("%d", &Ny);
     unsigned char* data;
     data = (unsigned char*) malloc(sizeof(unsigned char) * Nx * Ny);
                                  //メモリ割当に失敗か?
     if (data == NULL)
         printf("メモ
必要
                                  //プログラムを終了する
         exit(0);
                    stdlib.h中で宣言されたマクロ
                    #define NULL 0
     Image img = \{ (unsigned char*) data, Nx, Ny \};
     CglSetAll(img, 0);
     int x, y;
                                          2次元配列で書き直すこ
     for (y = Ny/4; y < Ny/2; y++)
         for (x = Nx/4; x < Nx/2; x++)
                                          とはできない
                                          data[x][y] = 255; \times
             *(data + x*Ny + y) = 255;
     CglSaveGrayBMP(img, "Rei3-1.bmp");
     free (data);
                                  //メモリ解放
      動的割り当ての成功・失敗の判定は必ず必要
```

理由: メモリ不足などの理由で割り当てに失敗する可能性がある.

void* malloc(size_t s)
ヘッダファイル stdlib.h
引数 s:割り当てるメモリのバイト
数
注)size_t型はほぼint型と同じ
戻り値 メモリの先頭へのポインタ
注)void型ポインタは不明な変数
型へのポインタなので、何かの型
へのポインタにキャストしないとポインタとして使用できない
戻り値がNULL(=0)の場合
割り当てに失敗
sizeof(「データ型」)

```
「データ型」の変数一つに必要なメ
モリのバイト数を返す演算子
注)
sizeof (unsgined char) ⇒ 1
従って簡易的に書くなら
・・・malloc (Nx*Ny)・・・
```

void free (void* mem)
ヘッダファイル stdlib.h
引数 mem:解放するメモリの先 頭アドレス 戻り値 なし

としても良い.

基本課題3



画像サイズを入力し、次に四角形の左下の座標 (x_1, y_1) と右上の座標 (x_2, y_2) を入力するとその四角形を白色で塗りつぶすプログラムを作成せよ。ただし (x_2, y_2) の位置が画像の外側である場合は画像の範囲内で四角形を描くこと。

画像の横方向ピクセル数は? 200 画像の縦方向ピクセル数は? 150 X1 = ? 20 Y1 = ? 80 X2 = ? 100 Y2 = ? 120

画像の横方向ピクセル数は? 200 画像の縦方向ピクセル数は? 150 X1 = ? 20

Y1 = ? 80

X2 = ? 300Y2 = ? 120

X2とY2が不正 な値である場合 も正しく処理す ること!

X1とY1は画像の内側の正しい

値だと仮定して

良い

画像の横方向ピクセル数は? 200 画像の縦方向ピクセル数は? 150 X1 = ? 20 Y1 = ? 80 X2 = ? 300 Y2 = ? 200

(1) 実行結果 (スクリーンショット)

座標2 (100,120)





(2) 実行結果(BMPファイル)

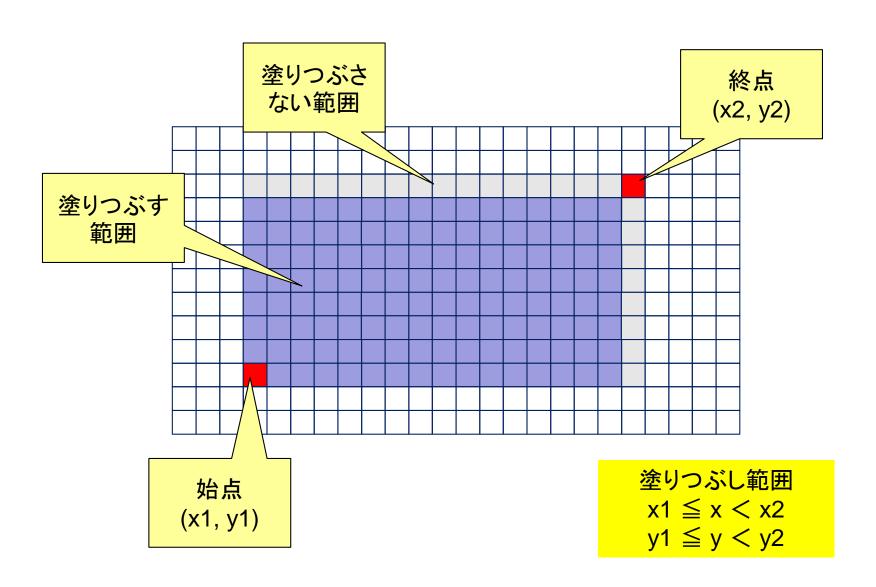
・(1)と(2)の両 方をWordに 貼り付けて提 出!

座標2 (300,120)

・実行例を二 つ以上提出!

復習

図形範囲指定の補足



未完成レポートについて

- プログラムが未完成あるいは動作が不完全であるにもかかわらず、完成したかを装ったような悪意のあるレポートを出した場合は、マイナス点とします。
- 課題プログラムが未完成あるいは不完全動作に終わった場合は、レポートの冒頭で目立つように「未完成です」という表記を入れること。
 - 未完成であっても、わずかな努力点を加点する場合があります。

悪意のある未完成レポートの例

- ソースと実行結果が一致しない ⇒ マイナス点を加点
- − 特定の実行例ではエラーになって実行できないにも関わらず、それを隠している ⇒ マイナス点を加点

A君解答

基本課題3解答例

```
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
                                                                                   (X2, Y2)
#include "cglec.h"
                                                               (0, Ny-1)
                                                                              (Nx-1, Ny-1)
int main(void)
    int Nx, Ny;
    int X1, Y1, X2, Y2;
    printf("画像の横方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Nx);
    printf("画像の縦方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Ny);
   printf("X1= "); scanf("%d", &X1);
   printf("Y1="); scanf("%d", &Y1);
    printf("X2="); scanf("%d", &X2);
                                                                (0, 0)
                                                                                  (Nx-1, 0)
   printf("Y2="); scanf("%d", &Y2);
   unsigned char* data;
    data = (unsigned char*) malloc(sizeof(unsigned char) * Nx * Ny);
    if (data == NULL) //メモリ割当に失敗か?
                                                        if(X2 > Nx) X2 = Nx;
       printf("メモリエラー!!");
                                                        if(Y2 > Ny) Y2 = Ny;
       exit(0); //プログラムを終了する
                                                        int x, y;
    Image img = { (unsigned char*) data, Nx, Ny };
                                                        for (y = Y1; y < Y2; y++)
   Cg|SetA||(img, 0);
                                                            for (x = X1; x < X2; x++)
```



```
int x, y;
for (y = Y1; y < Y2; y++)
for (x = X1; x < X2; x++)
{
*(data + x*Ny + y) = 255;
}
CglSaveGrayBMP(img, "Rei3-1.bmp");
free(data); //メモリ解放
}
```

基本課題3解答例

非効率な例

```
int x, y;
for (y=Y1; y<Y2; y++) {
    for (x=X1; x<X2; x++) {
        if (X2>Nx) { X2=Nx;};
        if (Y2>Ny) { Y2=Ny;};
        *(data + x*Ny + y) = 255;
    }
}
```

```
int x=0, y=0;
for (y=y1; y<=y2; y++) {
    for (x=x1; x<=x2; x++) {
        if (x<=Nx && y<=Ny)
            *(str+(Ny*x)+y)=255;
    }
}</pre>
```

```
(X2, Y2)
(0, Ny-1) (Nx-1, Ny-1)
(X1, Y1)
(0, 0) (Nx-1, 0)
```

```
for (y = y1; y < y2 && y < Ny; y++)

for (x = x1; x < x2 && x < Nx; x++)

{

*(data + x*Ny + y) = 255;

}
```

```
for (y = y1; y < y2; y++)
{
    if (y == Ny)
        break;
    for (x = x1; x < x2; x++)
    {
        if (x == Nx)
            break;
        *(data + x*Ny + y) = 255;
    }
}</pre>
```

```
for (y = Y1; y < Y2; y++)
{
    if (y == Ny)
        break;
    for (x = X1; x < X2; x++)
    {
        *(data + x*Ny + y) = 255;
        if (x == Nx)
            break;
    }
}</pre>
```

効率的なプログラムの条件

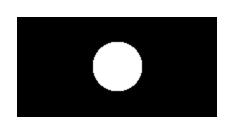
- 1) ループを実行する前にしっかりと事前処理する パラメータチェック!
- 2) ループ内での処理をできるだけ簡単化する 条件判断(if文)がループに入るとスピードダウン!
- 3) ループの回数をできるだけ減らす アルゴリズムの検討!

発展課題3

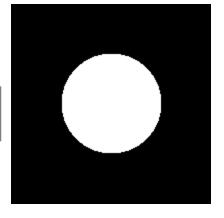
次回より円の塗りつぶし 復省 ムを学習するので、予省のため ぜひやってみよう。

画像サイズを入力し、その短辺の2分の1を直径とする円を白で塗りつぶすプログラムを作成せよ

画像の横方向ピクセル数は? 200 画像の縦方向ピクセル数は? 100



画像の横方向ピクセル数は? 200 画像の縦方向ピクセル数は? 200



画像の横方向ピクセル数は? 50 画像の縦方向ピクセル数は? 400

発展課題3 ヒント



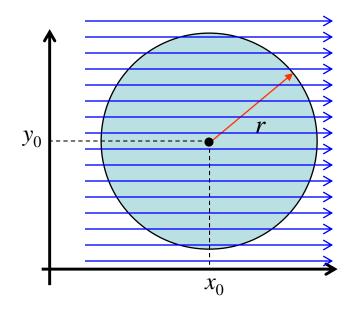
 (x_0, y_0) を中心とする半径rの円の方程式は

$$(x-x_0)^2 + (y-y_0)^2 = r^2$$

である. 従って, この円の内側の領域は

$$(x-x_0)^2 + (y-y_0)^2 \le r^2$$

で表される.



ラスタースキャン

発展課題3解答例

C君解答



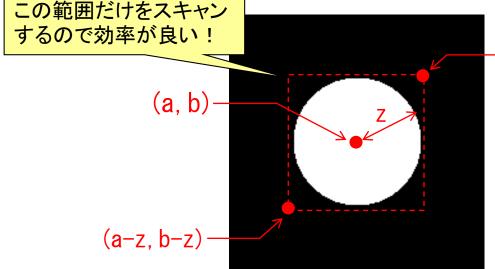
D君解答

```
CglSetAll(img, 0);
int x, y;
for (y = 0; y < Ny; y++)
    for (x = 0; x < Nx; x++)
        if (Nx<Ny)
            if((x-Nx/2)*(x-Nx/2)+(y-Ny/2)*(y-Ny/2) \le Nx/4*Nx/4)
            *(data + x*Nv + v) = 255;
        else
            if((x-Nx/2)*(x-Nx/2)+(y-Ny/2)*(y-Ny/2) \le Ny/4*Ny/4)
            *(data + x*Nv + v) = 255;
CglSaveGrayBMP(img, "Rei3-1.bmp");
```



発展課題3解答例

E君解答



-(a+z, b+z)

全ピクセル数 50×400 = 20,000 スキャン範囲 25×25 = 625 20000/625 = 32 倍!

関数を作ろう!

```
Example4-1
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
                                                                    右上(x2,y2)
#include "cglec.h"
int main(void)
   int Nx, Ny;
                                                          左下(x1, y1)
   printf("画像の横方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Nx);
   printf("画像の縦方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Ny);
   unsigned char* data;
   data = (unsigned char*) malloc(sizeof(unsigned char) * Nx * Ny);
                              //メモリ割当に失敗か?
   if (data == NULL)
                                                     四角形の描画はよく利用す
      printf("メモリエラー!!");
                                                     るので. 関数にしておこう!
                              //プログラムを終了する
      exit(0);
                                                                左下の点座標
   Image img = { (unsigned char*) data, Nx, Ny };
   CglSetAll(img, 0);
                                                                   右上の点座標
   int x. v;
   for (y = Ny/4; y < Ny/2; y++)
       for (x = Nx/4; x < Nx/2; x++)
                                         PaintRect(img, (x1, y1, (x2, y2, 255));
          *(data + x*Nv + v) = 255;
                                                             Image型構造体変数
   CglSaveGrayBMP(img, "Rei3-1.bmp");
                              //メモリ解放
   free (data);
                                                            描画する「キャンバス」
```

を指定する

四角形描画関数

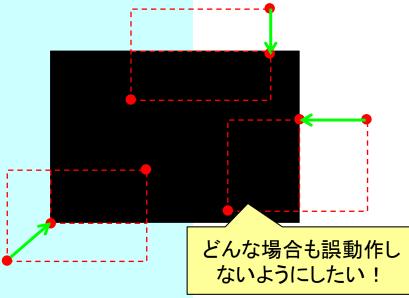
Example4-2

```
void PaintRect(Image img, int x1, int y1, int x2, int y2, int level)
   int temp;
   if (x1 > x2) // x1 < x2 になるように入れ替え
      temp = x1; x1 = x2; x2 = temp;
   if (y1 > y2) // y1 < y2 になるように入れ替え
      temp = y1; y1 = y2; y2 = temp;
   // パラメータが範囲外の場合は修正
   if (x_1 < 0) x_1 = 0;
   if (y1 < 0) y1 = 0;
   if (x2 > img. Nx) x2 = img. Nx;
   if (y2 > img. Ny) y2 = img. Ny;
   if (|eve| < 0) |eve| = 0;
   if (|eve| > 255) | |eve| = 255;
   // 四角形描画
   int x, y;
   for (y = y1; y < y2; y++)
       for (x = x1; x < x2; x++)
          *(img. Data + x*img. Ny + y) = level;
    構造体変数imgの画像に対する描画なので、画像の幅や
```

高さはimgのメンバー変数を用いなければならない

機能

画像imgにおいて, 二点(x1, y1), (x2, y2)を対 角点とする四角形をグレー レベル|eve|で塗りつぶす



```
struct Image
{
 unsigned char* Data; // データ領域へのポインタ
 int Nx; // 横方向ピクセル数
 int Ny; // 縦方向ピクセル数
};
```

基本課題4

中心座標 (x_0, y_0) と半径r, グレーレベルgを引数として、円を塗りつぶす関数を作成せよ。この時、引数が適切な範囲で無い場合も正常に動作すること、作成した関数と下記のmain()を組み合わせて実行例と同じ画像を得よ、main()関数を修正してはいけない!

Report4-1

```
#include
        <stdio.h>
       <stdlib.h>
#include
#include "cglec.h"
void PaintCircle(Image img, int x0, int y0, int r, int g)
   // この関数を作成する. x0,y0: 中心座標, r: 半径,g: グレーレベル
int main(void)  // main()関数はこのまま使う.修正しないこと!
   int Nx. Ny;
   printf("画像の横方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Nx);
   printf("画像の縦方向ピクセル数は?"); scanf("%d", &Ny);
   unsigned char* data = (unsigned char*) malloc(sizeof(unsigned char) * Nx * Ny);
   if (data == NULL)
                                     //メモリ割当成功か?
      printf("メモリエラー!!"); exit(0); } //メモリ割当に失敗したらプログラムを終了する
   Image img = { (unsigned char*) data, Nx, Ny };
   CglSetAll(img, 0);
   PaintCircle(img, Nx/2, Ny/2, Nx/5, 255);
   PaintCircle(img, 0, 0, Nx/8, 150);
   PaintCircle(img, Nx/2, Ny/8, Nx/6, 100);
   PaintCircle(img, 5*Nx/4, 3*Ny/4, Nx/2, 50);
   PaintCircle(img, Nx/2, 7*Ny/4, Nx, 200);
   CglSaveGrayBMP(img, "Circles.bmp");
   free(data);
                         //メモリ解放
```

基本課題4の実行例

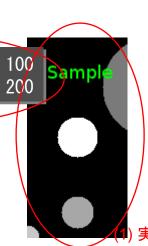
注)文字「Sample」は描画不要

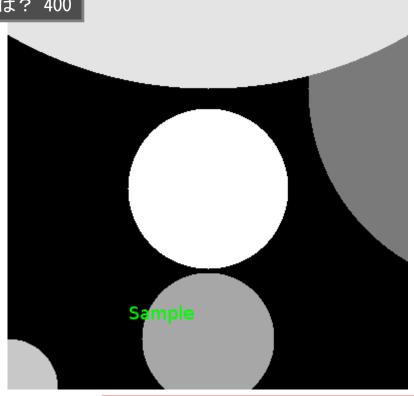
画像の横方向ピクセル数は? 400 画像の縦方向ピクセル数は? 400

画像の横方向ピクセル数は? 300 画像の縦方向ピクセル数は? 200

画像の横方向ピクセル数は? 100 画像の縦方向ピクセル数は? 200

(2) 実行結果 (画面コピー)





- ・ソースを提出
- ・(1)と(2)の両方を提出!
- ・実行例を2種類以上提出!

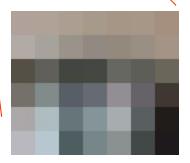
実行結果(BMPファイル)

カラーデジタル画像



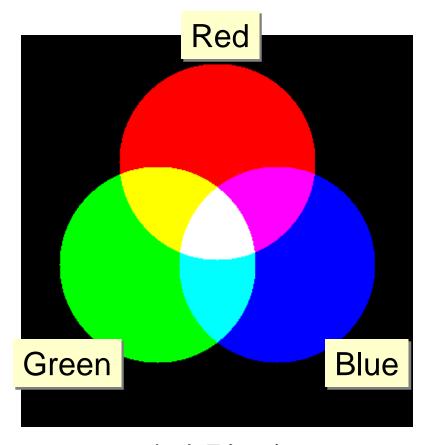




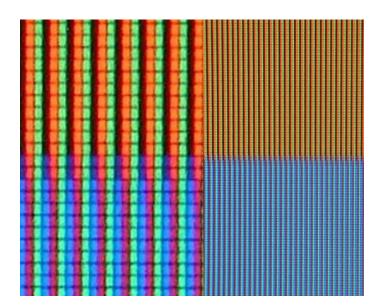


それぞれのピクセルが色 を持っている

光の三原色とRGBカラーモデル

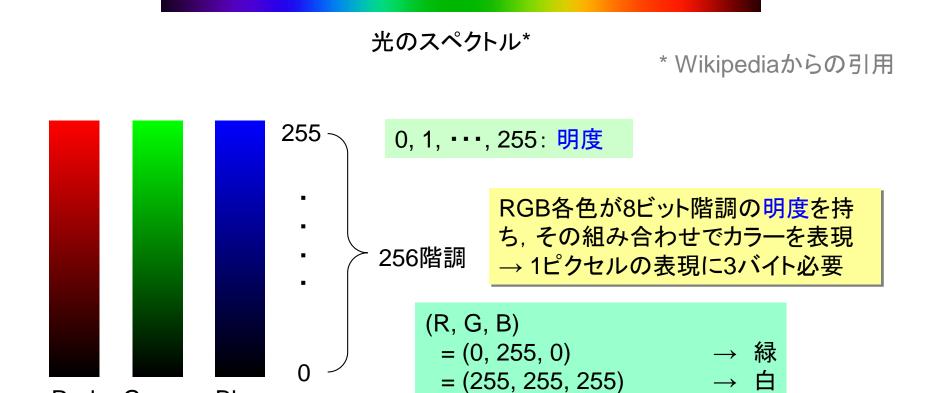


加法混色の例



カラー液晶の拡大写真*

コンピュータにおけるカラー表現



これ以外にも、コンピュータでカラー画像を現す方式は種々あるが、ここでは深く立ち入らない

= (255, 255, 0)

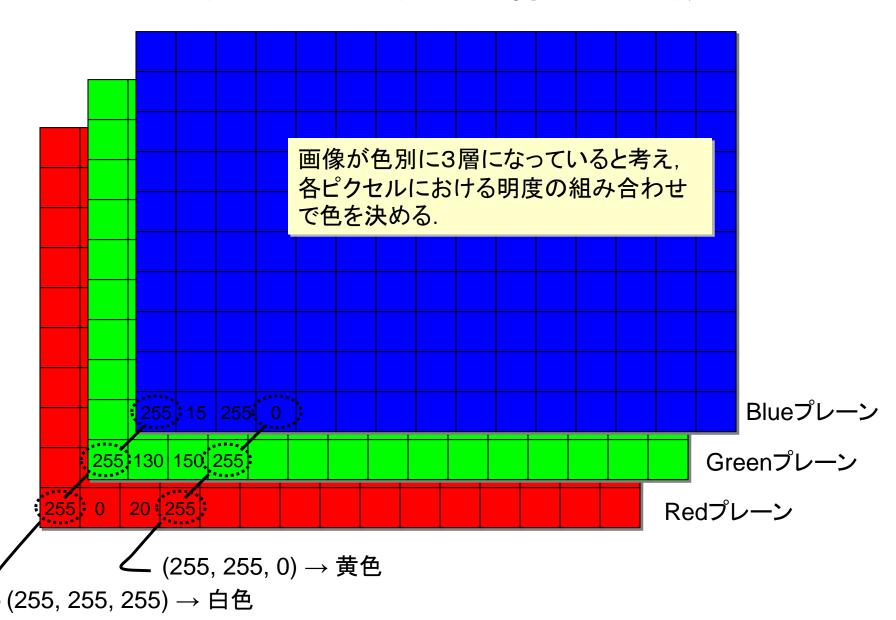
→ 黄

Red

Green

Blue

プログラムでのカラー画像の取り扱い



cglecライブラリの関数

void CglSaveColorBMP(Image red, Image green, Image blue, const char* fname)

カラー画像をBMPファイルとして保存する関数

red 赤色プレーンの画像を示すImage型構造体変数

green 緑色プレーンの画像を示すImage型構造体変数

blue 青色プレーンの画像を示すImage型構造体変数

fname ファイル名(拡張子は「.bmp」にしておくこと)

カラ一画像作成プログラムのソース例

Example4-3

```
"cglec.h"
#include
#define WIDTH 256
                                               yoko
                                                            gray-tate.bmp
                                                                            red-tate.bmp
#define HEIGHT 256
int main(void)
   unsigned char tate[WIDTH][HEIGHT];
   unsigned char yoko[WIDTH][HEIGHT];
   unsigned char kuro[WIDTH][HEIGHT];
   Image img_tate = { (unsigned char*) tate, WIDTH,
                                                 HEIGHT };
   Image img_yoko = { (unsigned char*) yoko, WIDTH, HEIGHT };
   Image img_kuro = { (unsigned char*) kuro, WIDTH,
                                                 HEIGHT };
   int i, j;
                                                               blue-yoko.bmp
   for (i = 0; i < WIDTH; i++)
       for (j = 0; j < HEIGHT; j++)
                          // 縦方向のグラデーション
           tate[i][i] = i;
           yoko[i][j] = i; // 横方向のグラデーション
                                                               red-green.bmp
   CglSetAll(img_kuro, 0);
                                                      //グレイスケールの縦グラデーション
   Cg|SaveGrayBMP(img_tate, "gray-tate.bmp");
                                              "red-tate.bmp"); //赤色の縦グラデーション
   CglSaveColorBMP(img tate, img kuro, img kuro,
                                              "blue-yoko. bmp");//青色の横グラデーション
   CglSaveColorBMP(img kuro, img kuro, img yoko,
   Cg|SaveColorBMP(img_tate, img_yoko, img_kuro, "red-green.bmp");//赤と緑の縦横グラデーション
```

Blue

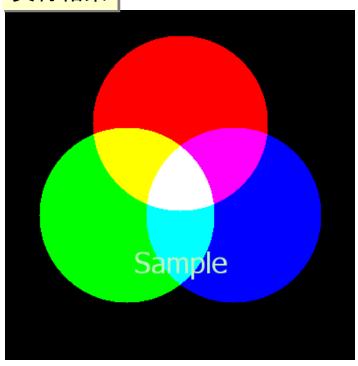
Green

Red

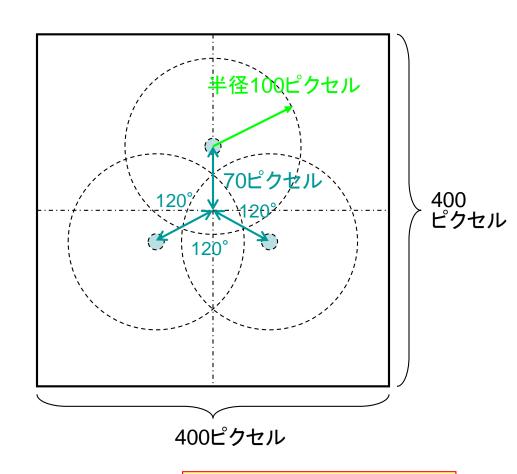
発展課題4

基本課題4で作成したPaintCircle()関数を再び用いて、下記の実行結果と同じ加法混色を示すカラー画像を作成するプログラムを作成しなさい。

実行結果



注) 図中の「Sample」の文字は、解答には必要ない



ソースと実行結果を提出